

全国一般大阪

2017年
12月25日
2018年
1月1日
NO.693

全国一般大阪地方労働組合
大阪市東成区中道3-2-34
TEL 06-6977-9381
FAX 06-6977-9382

全国一般大阪第3回執行委員会

2018春闘方針(案)を論議!

全国一般大阪第3回執行委員会は12月16日、全国一般大阪事務所で開催、全国一

して、労働者間の競争を生み出す能力・業
般大阪2018春闘討論集会・臨時大会にむけて
2018春闘方針案について活発な討議を展開し
た。先だって、全国一般評議会2018春闘討
論集会が12月10、11日、自治労会館で開
催、度」の確立にむけとりくむ。また「出来高
討論集会では2018春闘方針案が議論され、
上げ要求1万3500円以上を基本とする方針
案に對して16名が発言した。討論集会では、
日本労働弁護団・宮里邦雄弁護士から「労
働組合の存在意義と役割」として、労働者
自身の目覚めと自立・連帯・団結、運動の
再生と復権めざす課題などの提起がなされ
た。一方で連合は、5年連続で賃上げ・ベ
ア2%程度を基準または定昇込み4%程度
を決定した。さらに、連合中小共闘は、1
万500円(450円+600円)以上を要求基
準としている。こうした連合や全国一般評議
会を経て全国一般大阪として、2018春闘
は、大手と中小の格差縮小・是正など生活
向上などを考慮すると1万3500円以上の
は当然であり、連合方針を基本にとりく
でいく。他方で景気動向は、円安・株価高、
原材料高のなかで大手輸出企業を中心に円
安を活用して好調な企業業績を増大させ、
内部留保(400兆円超)をため込む一方で、
中小企業では円安、原材料高で厳しい経営
困難な状況となっている。

平均賃上げ要求 13、500円以上

- 「賃上げ要求根拠」
- ① 定期昇給相当分 4500円
 - ② 生活上(物価上昇) 7200円
 - ③ 格差是正分 1800円
 - ④ パート(時間給) 労働者の賃上げ
時給50円以上 絶対額100円以上
- (2) 夏季一時金の要求基準
基準内賃金の3ヵ月(年間6ヵ月)
- (3) 組織強化拡大と争議組合支援
サンプラザ労組は、会社と第2組合の攻

撃に屈せず粘り強いとりくみの結果、多く
の勝利命令となった。さらに、12月13日、
安倍政権は昨年引き続き賃上げ要請を
行い、それに呼応した日本経団連は、2018春
闘については「賃上げの勢いを続けていく
必要がある。定昇とベースアップで3%引
き上げの検討を企業に求める」としている
が、賃金交渉は労使自治の範疇でもあり、
政府の関与はとうてい容認できない。

2018 発な論議で春闘方針の確立をはかろう。

地裁・労働委員会闘争に支援・連帯、
争議組合の決着に向け前進を図ろう

全国一般大阪では、多くの組合・支部が法
廷闘争、職場闘争に奮闘している。年末の12
月13日、大阪府労働員会は、サンプラザ労
組・パート契約更新(第12号事件)問題で画
期的な命令が出された。要旨は①契約更新に
あたり組合加入の意向確認の雇用契約書の
使用禁止、②第2組合(サンプラザユニオン)
加入の雇用契約書を理由にチェックオフ禁
止と、チェックオフした組合費を返還するこ
と、③陳謝文を手交し、白板版(2m×1m)
を本社正面玄関に2週間設置すること。さら
に12月20日、大阪高裁が控訴審(配転問題
7号事件)で府労委命令・大阪地裁判決に続
いて勝利判決を下した。こうした会社(サン
プラザ)の相次ぐ不当労働行為命令・判決に
對して、全国一般大阪サンプラザ労組は、会
社への猛省と労使関係正常化と信頼関係構
築を求めていく。

他方で、師走のなか12月11日、ユニオン
おおさかCSCサービズ支部7名全員に對
して懲戒解雇の不当解雇を強行してきた。
当該支部は、連日の抗議行動(就労闘争)
と、ビラまき、街宣行動を展開している。
CSCサービズ支部は(おくりびと・湯灌
業務)、2017年3月、会社役員によるパワハラ、
カメラ監視などに抗して支部を結成し、交渉
を進めてきた。しかし会社は不誠実な対応
と、業務を日常的に不当に監視(興信所)し、
今回の不当解雇を強行した。会社の狙いは労
働組合をつぶし、支部の仲間を会社から放り
出すことにあったといわざるを得ない。

各組合・支部はこうした、地裁・労働委員
会や職場で粘り強く闘う仲間の支援にご支
援、ご協力を引き続きお願いしたい。

全国一般大阪組織化、組織強化・拡大 のとりくみを通年的に実施!

組織拡大の課題は、多くの産別・単組の課
題でもある。100万連合、自治労10万人非正
規組織化、全国一般評議会は毎年5%の組
織化実現、全国一般大阪は毎年1名が1組
合員、単組が3年に1組合の組織化方針を
とりくんできた。全国一般大阪はこの1年
間に、135件超(前年130件)の労働相談に
し、20組合・60名の組織化・組合員化を
実現してきた。

組織化・争議支援に全力をこす

具体的な事例では、個別事案への対応が
多い中で、昨年9月結成した藤川ハガネ支
部(14名)は、有給休暇取得問題に端を発
し、労組結成後の解雇(その後、懲戒解雇)
で地裁・労働員会の闘い(地裁和解成立)、
中エネ支部(20名)は太陽光発電関係の職
場での政府の原発再稼働推進政策などの結果、
経営の行き詰まりの中で、支店(東京・大
阪)閉鎖問題で支部結成(生活保障決着)、
上記のCSCサービズ支部の解雇問題があ
り、多くの組織で、企業・雇用問題とな
っている。全国一般大阪は1987年に相談活動
再開して以降、多くの組織・労働相談に對
応してきたが、今後も粘り強くとりくみを
継続していく。新たな組織化の課題では、
年初に、2組合の組織化をすすめている。
今後も全国一般評議会の全国一斉労働相
談(府本部公サ評連携・毎年2月)、関西ブ
ロック一斉の労働相談(毎年11月)のとり
くみを継続し、正規・非正規労働者を含む
すべての労働者の悩みや相談に對応、とり
くんでいく。

各職場においても、定年延長・継続雇用
労働者、契約・パートなどのすべての仲間
の組織化実現と、各組合・支部は、2018春闘
の前進に向けて奮闘しよう。

全国一般大阪地方労働組合

2018春闘討論集会・臨時大会・旗開き
日時：2018年1月27日(土) 9時半
場所：大阪リバーサイドホテル